年度 〈2012〉　会計 〈12〉　区分 〈1-2-1-1〉　所属 〈162〉

平成 24 年度当初予算(案)　事業別シート　　宇陀市 下水道事業特別会計

事業区分	新規	事業名	マンホールポンプ等新設・更新工事

所管課	下水道課	(水道局)

事業の目的

緊急輸送路で更新が必要なマンホール鉄蓋を優先的に取替える。また、管路整備済区域のなかで、マンホールポンプ未設置区域にポンプを設置し、供用区域を拡大する。
さらに、老朽化が進んだマンホールポンプの更新、第二中継ポンプ場高圧受電設備の更新などを実施し管理費の低減を図る。

下水道事業特別会計予算

区分	No.	区分名
款	1	下水道費
項	2	公共下水道建設費
目	1	公共下水道建設費
細目	1	公共下水道・補助

根拠条例等	社会資本整備総合交付金交付要綱
総合計画	基本計画第3章第4節　下水道の整備　下水道施設整備

H24年度事業の概要

「社会資本整備総合交付金事業(国交省)」

①菟田野地区駒帰マンホールポンプ設置
②大宇陀地区岩室マンホールポンプ更新
③大宇陀地区三和湯下マンホールポンプ更新
④第2中継ポンプ場の受電設備更新
⑤大宇陀地区マンホール鉄蓋取替

事業の成果

①下水道の供用が可能になる。
②ポンプ故障による事故を未然に防ぎ、地域住民の安全で健全な生活を確保できる。
③ポンプ故障による事故を未然に防ぎ、地域住民の安全で健全な生活を確保できる。
④第2中継ポンプ場での事故を未然に防ぎ、地域住民の安全で健全な生活を確保できる。
⑤緊急輸送路の安全性の確保と向上を図る。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		8,650
県　費		
市　債		8,650
その他		
一般財源		
H24予算額	A	17,300
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A－B	17,300

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額 (千円)		
従事職員数【人工】		
人件費 (人工×8,000千円)		
総事業費:人件費含む (千円)		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績	単位	単位
単位当たりコスト　(円)		

特定財源の状況

社会資本整備総合交付金	8,650千円
公共下水道債	6,150千円
過疎対策事業債	2,500千円

事業の目標

地域の実情に応じた下水道事業の整備、更新を計画的に実施することにより、宇陀川流域における公共水域の水質保全に寄与する。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
3. 市民安心安全プロジェクト
［生活基盤の整備］
(3) 下水道施設の維持補修

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 下水道事業特別会計

事業区分	継続	事業名	天満台地区長寿命化布設管更新業務

所管課	下水道課	(水道局)

事業の目的

老朽化が進んでいる天満台地区の下水道管の長寿命化計画書に基づき、管路更新工事を計画的に実施し、管路の長寿命化及び不明水を排除することにより、管理費の低減を図る。

下水道事業特別会計予算		
区分	No.	区分名
款	1	下水道費
項	2	公共下水道建設費
目	1	公共下水道建設費
細目	1	公共下水道・補助

根拠条例等	社会資本整備総合交付金交付要綱
総合計画	基本計画第3章第4節　下水道の整備　下水道施設整備

H24年度事業の概要

「社会資本整備総合交付金事業(国交省)」

全体計画年度　　H22年度～30年度
全体計画の概要　　長寿命化対策管路更新工事
　　工事延長L＝1，200m
H24年度の事業費　　実施設計　5,000,000円

事業の成果

宇陀川処理区天満台地区長寿命化対策の実施率を向上させつつ、既設管路の長寿命化を得る。

財源の内訳　(単位:千円)		
分担金		
使用料		
国　費		2,500
県　費		
市　債		2,500
その他		
一般財源		
H24予算額	A	5,000
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A－B	5,000

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額 (千円)	5,247	3,728
従事職員数【人工】	0.23	0.24
人件費 (人工×8,000千円)	1,840	1,920
総事業費:人件費含む (千円)	7,087	5,648
活動指標名	進捗率	
活動指標の算式	年度事業費／全体事業費	
活動指標の実績	5.4 単位 %	3.8 単位 %
単位当たりコスト　(円)	1,312,407	1,486,316

特定財源の状況

社会資本整備総合交付金　2,500
公共下水道債　2,500

事業の目　標

事故の未然防止及びライフスタイルコストの最小化を図ることを目的に施設の健全度点検調査により計画を策定し、良好な生活環境を確保すると共に、水域の水質を保全する。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
3. 市民安心安全プロジェクト
［生活基盤の整備］
(3) 下水道施設の維持補修

平成 24 年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 下水道事業特別会計

事業区分	新規	事業名	第2中継ポンプ場長寿命化計画策定業務

所管課	下水道課	(水道局)

事業の目的

老朽化が進んでいる天満台地内の第二中継ポンプ場を調査・診断し、計画的に設備の更新をし、管理費の低減を図る。

下水道事業特別会計予算		
区分	No.	区分名
款	1	下水道費
項	2	公共下水道建設費
目	1	公共下水道建設費
細目	1	公共下水道・補助

根拠条例等	社会資本整備総合交付金交付要綱
総合計画	基本計画第3章第4節　下水道の整備　下水道施設整備

H24年度事業の概要

「社会資本整備総合交付金事業(国交省)」
全体計画年度　H24年度～H29年度
全体計画の概要　長寿命化計画策定
第二中継ポンプ場の土木・建築機械設備・建築電気設備・機械設備・電気設備
6工種1式
H24年度の事業費　計画書策定委託5,900,000円

事業の成果

既設第二中継ポンプ場機能の長寿命化を図ることにより、天満台地区の健全な汚水排出を延命できる。

財源の内訳　(単位:千円)		
分担金		
使用料		
国　費		2,950
県　費		
市　債		2,950
その他		
一般財源		
H24予算額	A	5,900
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A－B	5,900

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額 (千円)		
従事職員数【人工】		
人件費 (人工×8,000千円)		
総事業費:人件費含む (千円)		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績	単位	単位
単位当たりコスト　(円)		

特定財源の状況

社会資本整備総合交付金　2,950
公共下水道債　2,950

事業の目標

事故の未然防止及びライフスタイルコストの最小化を図ることを目的に施設の健全度点検調査により計画を策定し、良好な生活環境を確保すると共に、水域の水質を保全する。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
3. 市民安心安全プロジェクト
［生活基盤の整備］
(3) 下水道施設の維持補修

平成 24 年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 下水道事業特別会計

事業区分	新規	事業名	管渠布設にかかる調査業務

所管課	下水道課	(水道局)

事業の目的

松井地域の実情に応じた下水道施設の整備を計画的に実施し宇陀川流域における公共水域の水質保全に寄与する。

下水道事業特別会計予算

区分	No.	区分名
款	1	下水道費
項	2	公共下水道建設費
目	1	公共下水道建設費
細目	1	公共下水道・補助

根拠条例等	社会資本整備総合交付金交付要綱
総合計画	基本計画第3章第4節　下水道の整備　下水道施設整備

H24年度事業の概要

「社会資本整備総合交付金事業(国交省)」

全体計画年度　H24年度～H27
全体計画の概要　ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ調査2箇所 φ66mm　φ86mm　L＝10m
H24年度の事業費　1,800,000円

事業の成果

市街化区域内であり未整備区域である松井地区の下水道整備推進に伴う基礎調査となる。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		900
県　費		
市　債		900
その他		
一般財源		
H24予算額	A	1,800
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A－B	1,800

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額 (千円)		
従事職員数【人工】		
人件費 (人工×8,000千円)		
総事業費:人件費含む (千円)		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績	単位	単位
単位当たりコスト　(円)		

特定財源の状況

社会資本整備総合交付金　900千円
公共下水道債　500千円
過疎債　400千円

事業の目標

地域の実情に応じた下水道施設の整備を計画的に実施することにより、良好な生活環境を確保すると共に、水域の水質を保全する。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
3. 市民安心安全プロジェクト
［生活基盤の整備］
(3) 下水道施設の維持補修